広報 なごみ
令和4年11月1日発行
2022 November

なごみ日和 vol.34

嶋田農園
嶋田　誠 さん

モットーは「お客様が喜ぶブドウ」

和水町のブドウ農家「嶋田農園」の嶋田誠さん。嶋田農園は、和水町で古くからブドウの栽培と直売所を営んでいます。菊水インターのすぐそばにあり、モットーは「お客様が喜ぶブドウ」。収穫されたブドウは、直売所などでの販売だけでなく、町のふるさと納税の返礼品にも出品されています。

誠さんは大学卒業後に、熊本市でサラリーマンとして働いていましたが、大好きな地元にもどり、ご実家である「嶋田農園」でブドウづくりをはじめて３年だそうです。試行錯誤を重ねながら、美味しいブドウをつくることにとてもやりがいを感じており、お客さんに喜んでもらえることが何よりも嬉しい。お金を払って買ってもらっているので、絶対に美味しいと思ってもらいたいとおっしゃっていました。

ブドウ栽培で重要なのは、花の咲く４月～５月の天気が、雨や曇りの日が少なく、晴れの日が多いこと。年々太陽の素晴らしさ、ありがたさを思い知らされているとのことです。手入れで気を付けていることは、ブドウの花が開花したものの短期間で多くの落花があり、一房に数粒しか実がつかない、あるいは房全体が落下する「花振るい」を防ぐことだそうです。そのために花の成長や実の肥大に必要な養分が十分にいきわたるように、注意深く観察し、労を惜しまず丁寧に手入れを行っているとのこと。また、シャインマスカットなどは、２～３日の収穫のずれで味が薄かったり、渋さが増したりするなど非常に繊細な品種。お客様に一番おいしい状態で食べてもらえるように気を付けて収穫することも大切なことだそうです。

目指すのは、熊本県で１番のブドウ農家、そのために栽培技術の向上に努め、新しい品種づくりにも積極的に取り組んで行きたい。美味しいものをつくるには、３年以上かかるが、他では買えないような品種を販売し、お客さんに喜んでもらいたいと話されました。

とにかく地元が大好き。ブドウ作りを通じて地元に貢献できているのはとても嬉しい。また、ブドウ作りだけでなく、地元に貢献できることがあれば積極的に行動したいとおっしゃる誠さん。ブドウ作りでも、自分の生き方においても、相手に喜んでもらえることが一番大切だと語ってくれました。

協力隊活動記　Vol.56

こんにちは、地域おこし協力隊の大木将裕です。４月に和水町へ来て半年がたちました。まだまだ不慣れなところもありますが、これからも和水町の情報発信に力を入れて活動していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

発行／和水町　編集／まちづくり推進課
連絡先／☎0968・86・5721　FAX0968・86・4215
〒865-0192 熊本県玉名郡和水町江田3886番地
HP／https://www.town.nagomi.lg.jp/
E-mail／msui@town.nagomi.lg.jp

森林資源を大切に―
この広報紙はエコマーク認定の再生紙を使用しています。